

# 糸島市農力を育む基本計画

「食」を生み出し、地域を支える「農業」は、糸島で暮らす私たちの「いのち」を支える基礎となるものです。

市では本年3月、こつした「食」と「農業・農村」の再生・振興を図るための基本指針となる「農力を育む基本計画」を策定しました。市は、市民共有の貴重な財産である「糸島の農業・農村」が将来の世代に確実に継承されるよう、計画に掲げる施策を市民と農業者・農業団体、食品産業事業者、九州大学などと協働し、強力に推進します。

## 農業・農村が持つ多面的機能

「農業・農村」は、食料を供給する役割だけでなく、美しい景観の保全や水

源のかん養、洪水の防止、伝統文化の継承など、多面的な機能を発揮する役割を担っており、すべての市民がその恩恵を受けています。



農力は、子どもたちを育む



美しい田園風景は、昔から長い時間をかけて営まれてきた農業によって形作られる



農力は、日々の生活に楽しさをもたらす

計画期間：平成23年度から27年度まで

## キーワードは「市民参画」

これからは「食」と「農」、「環境」が重要となる社会です。

消費者である市民が、農業・農村に対する理解を深め、農業・農村が、市民共有の貴重な財産であるとの認識のもと、市内で生産された農畜産物の消費、そして健全な食生活の実践など、積極的に行動することが必要です。

## 目標とする将来像

**食料像** 糸島産で健康な食生活が実践されるまち

**農業像** 優れた経営感覚をめざす農業者による持続的な農業が展開されるまち

**農村像** 農村が有する多面的な機能の発揮で豊かな市民生活を創造するまち

## 基本的施策と行動計画

基本計画には、市が実施する施策や推進体制、農業者や市民などの行動指

**食育推進計画** 家庭や地域、学校での食育の推進など、5項目の主要施策を展開します。

## 35項目の数値目標

本市の食料・農業・農村が抱える課題を踏まえ、糸島市農力を育む基本計画を推進し、望ましい食料像や農業像、農村像を実現するため、数値目標を設定しました。

35項目の数値目標の達成をめざし、効果的な施策を実施します。

これらを実現するためには、行政や農業者はもちろん、市民のみなさんにも、この計画に積極的に参画していただくことが重要です。

## 基本計画の推進体制

基本計画の推進は、農業者と消費者（市民）、事業者、学識経験者などで構成される「糸島市農力を育む市民推進会議」を中心に行行政と市民、関係団体、九州大学などが連携を図りながら、取り組みを展開していきます。

※基本計画本編およびダイジェスト版については、市ホームページに掲載しています。

**問い合わせ**  
糸島市農業振興課  
☎(092)20081  
http://www.city.itoshima.lg.jp/

農村

食料 数値目標 農業



## 食料分野(13項目を設定)

### ◎エコファーマー認定農業者数

内容	現状数値	目標数値
持続農業法に基づき、農薬・肥料の使用量を削減した栽培計画を県が認定した農家数	305戸	330戸

### ◎地産地消による販売額の目標

内容	現状数値	目標数値
地産地消販売額(地産地消費)	51億円(32.0%)	61億円(37.0%)

## 農業分野(12項目を設定)

### ◎認定農業者数の目標

内容	現状数値	目標数値
市が認定した農業経営改善計画の認定経営体数	376経営体	420経営体

## 農村分野(10項目を設定)

### ◎農業・農村が有する多面的機能の維持・保全の目標

内容	現状数値	目標数値
「農地・水保全管理支払事業」や「中山間地域等直接支払事業」に取り組む組織数	88組織	100組織

## みなさんの声

市民一人ひとりが  
できることを  
実践することが重要

糸島市農力を育む市民推進会議委員  
酒井 忠彬さん(神在)



糸島の自然は素晴らしく、その恵みが農業です。農業は、私たちの命や暮らし、癒やしにつながる、偉大で尊いもので、守っていくことが必要です。そのような思いで、この推進会議の委員になりました。

農業を守り、糸島の豊かな自然を育むためには、農業者だけでなく、糸島市民のパートナーシップが必要です。それは、生産者と消費者の関係を越えた「援農者」としての市民参画を意味しています。

市民や市内のお店での地産地消の取り組みや、学校はもちろん、各家庭での食育の取り組みは、農業の支援だけではなく、自分の健康や将来を担う子どもたちを育むことにもつながります。市民一人ひとりが、できることを実践することがたいせつです。

いま、ごみゼロ運動や環境保護、あいさつ、見守りたい、花いっぱい、などの呼びかけ人活動をしています。これも、愛する糸島が、さらに良くなってほしいという気持ちから。みなさんも一緒に活動をしてみませんか。